

令和8年1月31日
株式会社シーエス・ワンテン
ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社

ディズニージュニア 番組審議会議事録

- ・日時 令和7年12月3日(水)16:00～
- ・開催場所 東京都港区虎ノ門 1-23-1
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社 27階会議室
- ・参加者 審議委員総数 9名
出席委員数 9名

(出席委員名)

- 委員長 村川 幹夫 ((株)オリコン ME WEB 編集本部 執行役員／編集長)
- 委員 太田 美千子 ((株)講談社 第三事業本部 副本部長兼子ども事業部長)
- 委員 清水 優子 (ナレーター・キャスター・(有)タイムリーオフィス代表)
- 委員 須貝 駿貴 (学術博士・QuizKnock)
- 委員 てい先生 (保育士・ユーチューバー)
- 委員 名越 康文 (精神科医・評論家)
- 委員 peco (ファッションモデル・タレント)
- 委員 堀越 礼子 ((株)朝日新聞社 常務取締役大阪本社代表)
- 委員 よしひろ まさみち (ライター・編集者)

(衛星基幹放送事業者：株式会社シーエス・ワンテン)

- 福田 泉 (代表取締役社長)
- 船越 昇 (業務推進本部長)
- 川北 桃子 (編成局長)

(番組供給事業者：ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社)

- 小峰 利憲 (取締役)
- 白川 英晃 (セールス ディレクター
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社)
- 奥野 祥行 (編成 シニアマネージャー
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社)

佐藤 康平（編成 マネージャー）
待鳥 雅之（編成 アシスタント・マネージャー）
山本 綾子（編成 スペシャリスト）
戸泉 真佑子（編成 コーディネーター）
塩谷 美佳（編成 スケジューラー）
村田 彩水（編成 スケジューラー）

- ・ 議題 (1) ディズニージュニアの番組編成について
(2) 審議番組『キンダーガーデン・ミュージカル』について

・ 議事内容

(以下、* : 委員からの意見・質問、→ : ディズニーの説明・回答)

(1) ディズニージュニアの番組編成について

→12月の編成ハイライトは下記の通り：

- ・ 7日(日)8:00～12:30 及び 24日(水)16:00～21:00、25日(木)16:00～21:00
特別編成「ディズニージュニア すてきなクリスマス」
- ・ 13日(土)11:00～13:30
特別編成「パップストラクション なかまたちのおはなし」
- ・ 21日(日)10:30～12:00
特別編成「スーパーキティ ニャンダフル・サンデー」 (日本初放送)
- ・ 28日(日)12:00～13:30
特別編成「ファイヤーバディ ねんまつスペシャル！」
- ・ 12月29日(月)～1月4日(日)8:30-10:00、16:00-17:30
特別編成「ディズニージュニア キラキラムービー ティンカーベル特集」
- ・ 12月22日(月)～1月2日(金)
冬休み編成

(2) 審議番組『キンダーガーデン・ミュージカル』について

・ 放送概要：

令和6年12月1日(日) 日本初回放送。

約25分×全25話 (第1シーズン)。

・ 番組内容：

幼稚園を舞台にした、歌とダンスがたっぷりの楽しいミュージカル・アニメーション。幼

稚園に通い始めたパーティは、毎日ワクワクしている。新しいお友達を作ったり、教室を探検したり、クラスの係を決めたり、幼稚園には初めてのことがたくさんあるのだ。時には失敗もするけれど、優しいモレノ先生や仲良しのお友達ローズやラディッシュと一緒に乗りこえていく。今日もステキな冒険が、幼稚園のみんなを待ってるよ！

→本作は、オリジナルの歌とダンスが満載のミュージカル・アニメーション。

→友達との関係づくりや新しい体験を通して幼稚園の楽しさを描く内容となっている。

→様々な家庭環境で育つ主人公たちの成長を描く心温まるストーリー。

→3Dと2Dを織り交ぜた色あざやかな映像も、本作の大きな特徴。

*ワクワクドキドキを一緒に見ている感じがした。

*作品を観て、とても可愛くてワクワクさせてくれるし、もし自分が幼稚園にいたらどうだったのかと、視聴者の視線でみてしまった。

*それぞれの家庭環境が違うところとかは、今はそういう事も気にしながら作らなければいけない時代なのかと思った。

*この話は子供がやっているから可愛いけど、実は大人でも結構いると思いながら観た。ここでの周りの子供たちは、みんなは暖かい。大人になると、こういった人が周りになると下に見たり冷たくしてしまうことがあると反省した。色んな人と上手くやっていかないといけないとつくづく思った。心を病む人が多いという世の中なので、この作品を観ながらそういう事を色々考えてしまった。

*自分の子育てを思い出して、通わせたいのがこういう保育園だったら良かったらな…と思いながら観た。

*この番組には、「それぞれが違うからこそ素晴らしいチームになれる」というメッセージがあったが、日本の幼稚園には、こういった遊び要素の余裕がない。この番組のような、幼稚園と保育園の一体型のようなものが、日本の幼稚園でもできたら楽しいだろうと感じた。

*映像に関しては、3Dと2Dが上手く使われている。パーティの髪もすごく可愛くて、質感もよかった。2種類使われている事で、観ても疲れが少ない。

*色と映像と内容で、「幼稚園に通うことはこんなに楽しいよ」「ワクワクするんだよ」というディズニーのストレートなメッセージが伝わった。

*日本における初めての幼稚園は通常3歳だから、「初めての幼稚園」と聞いて、最初にこれを観た時に、「この子たちは天才か？」と思った。しかし、冷静に考えて、この番組は海外作品だから、主人公たちは日本でいう幼稚園年長くらいで5歳くらいだと気づいた。悪い意味ではなく、3歳くらいの子供たちが観たら、憧れを持てると思った。

*自分が今まで観た他の作品はポジティブから始まる事が多い中、この作品は、最初に主人公がまるでこの世の終わりかのように落とすことから始まる部分は、リアルだと感じた。

*実際に、保育園で初日から楽しむ子は、おそらく一人もいない。不安になるのは当たり前

という感情を、このように歌など色んなものに含めながら認めてあげる事で、子供たちは勇気がもらえると思う。

- * 親たちにも勉強になるだろう。他の子供と比較してしまい、親たちは子供が幼稚園に一週間くらいで慣れると思っている節がある。それぞれ個性があるという事を、すごく丁寧に描かれているので、全家庭にこれを観てほしい。
- * この番組の先生は、クラスで1人だけだが、それぞれのやりたい事を認め、尚且つやる気が出るような声掛けを上手くしている事が印象的で、この先生はすごく優秀だと感じた。直接的に誘導するのではなく、子供たちが思わずそっちの方向に行きたくくなるような声掛けや身振り手振りをやっているのだから、先生としての質が高い。
- * 初回放送された時にすぐに観た作品でもあり、大好きだ。自分の世代だと、タイトルに「～ミュージカル」と付いていることから、『ハイスクール・ミュージカル』の子供版が出るのだと思った。
- * 『ハイスクール・ミュージカル』の楽曲の作り方とほぼ同じで、親世代も懐かしく感じるような作りになっていると思う。だからこそ、「子供向き・教育」だけのマーケティングだけでなく、昔の『ハイスクール・ミュージカル』のファンに向けても売り出せるコンテンツだと思った。
- * 2D と 3D である演出は、ディズニーアニメーションスタジオがなせる技で、両方使いこなせる人達が作り上げた作品だ。映像での表現がされている。
- * 子供が飽きないように、短尺であることも素晴らしい。
- * 可愛くて、ポジティブで、素敵だと感じた。幼稚園は、ただ単純に楽しい場所じゃない事や、癖が強い子供も描かれていることが良い。
- * 自分の息子と重ねると、実際はもっと意地悪な子供や癖の強い子供もいる。これからもっとそういった子供が増えると、子供たちが自分と重ねられるかと思う。
- * テレビで良くない言葉を流すのはもちろん悪いことだと思うが、ディズニー風に言い直した傷つく言葉とかを、あえて出すなど、傷つける言葉の例が増えると、言う側の子供たちには、「察する能力」が伝わりやすいのではないかと感じた。言われている側にも、わからない子がいることを知ることができると思った。
- * この可愛い映像で、子供がいじめられた時に「いじめる相手は変えられない」という事を伝えられたら嬉しい。
- * この番組は、ディズニージュニアで流れていて問題無い、素晴らしい、良い番組と思った。
- * これまでも、ディズニージュニアで同じテーマが多いと感じるけど、登場する子供が入れ替わるし、同じテーマの番組は何度でも作られて何度でもみんなに見られるようになるべきだということもあるので、また大変良い番組ができて嬉しい。
- * 最初にパーティが幼稚園になじめなくて、グッと堪えるのはいいシーンだ。観た子供がパーティの姿を思い出せば、同じように我慢できて、もしかしたら楽しくなるのではないかと思った。「我慢してみましよう」というのは良いメッセージだ。

*ラディッシュがADHDのような特性を持っていて、子供自身がこれを自分の事として観るのは難しいが、親と一緒に観てあげた時に、親が子供の良さや周りの子供の良さを一緒にわかってあげられる番組だ。親子で一緒に観たい番組である。

*ディズニーでいう変わらない部分とは？

*「友達と仲良く」「協力しましょう」といったテーマ。どんな友達が出てくるかは、時代に応じて変わっている。

*タイトルを見て、『ハイスクール・ミュージカル』を思い浮かべた。

*感想として、ストーリーと楽曲のエンターテインメントが楽しかった。

*この作品は、上手く子供たちにガイドブック的な要素を与えていると感じた。子供が自分の知らないところに入って行く時は、すごく不安になる。それを上手くアニメーションという形で教えてくれる良いコンテンツと思った。

*子供向けだと知育・情操教育があり、親向けだと子育て実用など、いろんなコンテンツがある中で、子供が理解できる実用のコンテンツは難しいが、これは子供がいま直面している不安に対応してくれるのではないかと思った。

*自分の子供が4歳で転園する際に、既に作られたコミュニティの中に入らなければならなかったわけだが、その時は子供が実は不安だったと思うので、これを観せてあげたかった。

*未就学児向けのコンテンツを観る時は、いつも一番時間が長く感じるのだが、これは一瞬で観ることができた。開始から10秒で何か違うと感じた。一番初めに不安に落とされる場所も理由のひとつだ。自分も幼稚園初日に走って逃げようとしたことがある。その時、親に言えなかった。

*この番組は、始め部分から楽しめて、共感できるし、微細なところまで丹念にバランスよく描かれていると思えた、自分にとっては、初めての作品だ。

*他の委員の意見を受けて、この番組が教科書的にも素晴らしいとわかって安心した。

→この番組は、昨年12月の放送開始からディズニージュニアで非常に人気な作品で、ディズニー・チャンネルでも、来年2月に一挙放送で流す予定である。

→来年3月からは、レギュラー放送もプランに入れていこうと考えている。4月の入園季節に向けて気持ちを暖めてもらえる編成になるかと思う。

・審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置その年月日：

今回の審議会に出された意見については、審議会が開かれた令和7年12月以降、各番組のプロデューサー、担当者へのフィードバックをはじめ、番組制作会議等で活用し、さらなる番組の向上のために適切な措置を講じるよう努めていく。

- ・ 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法、及び年月日：

令和8年1月以降に、ホームページに審議会概要を掲載、公表する予定。

以上

